

2. 「理想のまちの姿（要旨）」に対する追加のご意見

「水戸市民未来共創アンケート①」での質問

問：「理想のまちの姿（要旨）」にあなたのご意見を加えたとしたら何ですか？
（複数の提言に対してでも構いません。）

いただいたご意見

・「人口減少」に歯止めを打つためにも、住みやすい水戸市を HP や他県等に出向き、特に若い方々に移住をすすめる。

・高齢者が健康で暮らせるまち

アルバイトでも良いから、働ける場所を増やし、生活を楽しむ。生活保護を減らす。健康寿命を伸ばす。

広域合併

観光地としての大洗、ものづくりのひたちなかと合併し、バランスの取れた街とするとともに、効率的かつ充実した行政サービスを提供する。結果として、県内外に存在感をアピールする。

今の規模では、企業も、若者も目を向けてくれません。

・水戸市の駅周辺がクローズアップされがちですが、全域が元気になるような文言があるといいなとおもいます。

・女性のキャリア支援

国政でも話題になっている育児問題の改善は、明らかに男性側の支援あるいは考え方の改善次第です。仕事と育児の両立が”女性の問題”となっている間は、まず変わらないと思います。(その話は40年ぐらい前から言われ続けていてわずかしかわってはいないですね)

女性が自立できる経済力を持って初めて、仕事と育児の両立の必要性が周囲の伝統的な考え方の人々にも響くのではないのでしょうか。

おそらく水戸市内には支援するためのロールモデルも少ないでしょうし、ソースも少ないと思うので、都内あるいは英語力をつけて海外の資格を取ったり海外のロールモデルとの交流を持てるような場を提供してくれる町であつたらいいなと思います。

・子供にも高齢者にも健常時にも障害者にも動物にも優しい水戸市であってほしいです。

・それぞれの世代や環境により求めているものは違うと思うので、誰も置き去りにされないまちづくりをこれからも続けていただきたいです。

加えて歴史や文化が身近にあるまちづくりも引き続きよろしくお願いします。

住みやすく、子どもや大人年齢問わず過ごしやすい市にしてほしい。不妊治療や出産、子育てに対する助成金も出してほしい。

先進的な歴史、魁の水戸ですので、地域社会であっても、固定観念にとらわれずに、歴史と文化を活かしつつ、先進的な取り組みが出来る地域社会の環境であれば良いなと思います。

・もんだいは交通の便が悪く、自家用車がないと移動しづらく住みづらいところである。

もちろんこれは観光にも言えることである。

優先順位で考えればこの問題を解決するには経済力があればいい。

国からの補助金依存無く独立性の高い豊かな経済が成り立てば、ほかの問題も自然に解決できるだろう。

具体的には人口を増やすしかないとおもう。

個人的には県都という割には交通の不便さが際立っていると思う。そのせいで観光もままならない。

市内から県北、県西方面に予約なしで乗れる観光バスを走らせる。

市内に一定料金で乗れる循環バスを走らせる。(水戸駅ー赤塚駅間、50号バイパス県庁方面などへ双方向に走らせる)

交通の便が良くなればたくさん人が行き来するようになればお金も動く。お店もできる。

- 交通の連携がよいまち。

警察などの巡回が多いまち。

- 7. 「安心して子供を産み、育てられる環境」があるまち に関して。

不登校の子を受け入れる学校がある、いじめ問題に積極的に取り組み、市内の学校にはいじめがない、というのが理想です。

貧困家庭、ひとり親世帯、虐待防止へ積極的な取り組みがあると良いです。

- 「自家用車がなくても～～」という提言があったが、地域の特性上どのみち最低1台は自家用車を持つことにはなり、またロクな公共交通機関もない中で目指す実態としては単純な文言以上にかげ離れている理想像のように思うので、家族で2-3台保有している車を、自家用車1台で暮らせる町、もしくは、休日に車を使わずに済む町、程度に現実に寄せて提言した方が良いと思う。感覚的には新幹線云々よりも無理難題に思えてならない。

「高齢の出産も～～」という提言があったが、それよりも若くして結婚、出産する世帯をフォローアップすべきではないかと思う。私自身金銭的不安で、結婚や子を持つことを躊躇しているため。

- 水戸市民大学等の講座研修や水戸市運営のカルチャーセンター施設を弘道館周辺に設置する。

水戸学について講座を開く等。

小中学で歴史なり、道徳なり学ぶ時間を作る。

- 1. 「水戸の歴史に市民が親しみ、主体的に学べる環境」があるまちについてですが、水戸駅の近くには歴史に関わる像や建物など、素敵な財産がたくさんあります。私の意見としましては、水戸駅付近に和風曲が流れていたら雰囲気はさらに良くなるのではないかと考えます。

音楽の種類によっては、癒し効果や犯罪抑止効果があるものもあるようです。

- 所得制限のない補助。

多額の住民税を納めているが子育てをいていた頃は医療費補助もなく児童手当もなく何の恩恵も受けていない。

大人のインフルエンザ補助、帯状疱疹ワクチンの補助を作ってもらいたい(当然、所得制限なし)

歩道の整備。

歩きづらくベビーカーも押せない道が多すぎる。

- ・健常者だけでなく、車椅子等の障害者や高齢者、ベビーカーを押しやすいバリアフリーの街並みです。

通学路にもなっている道路際に建っている今にも崩れそうな危険な空き家の所有者に取り壊す様に指導して欲しい。車両が通過中に倒壊するおそれもあります。

落葉樹の落ち葉が増える前に街路樹の剪定整備をして貰いたい。

錆び付いた古い歩道橋の撤去或いは点検整備。

- ・私の理想のまちは、子育て世帯・高齢者・障害のある方・外国につながる人・LGBTQなどに関わらず、誰もが明日の暮らしに希望を持てるまちである。程度に差はあるものの、人は経済・社会的に他者の支援や交流を必要とするが、このまちでは皆に行政サービスが行き届くため、皆の生活の悩みが解消されている。このことから、誰もが安心して生活することができるため、自分の望む暮らしの実現を目指せる環境が整っている。

- ・人とのつながりを大事にする街。

何かと道路や歩道が狭く、駅前だけでなく、地域ごとにもっと話を聞いてもらい、人がすれ違えるような、ゆとりの歩道がある街を望む。

- ・首都圏に通学、通勤ができるように

電車のダイヤの充実。

- ・自家用車がないとどうしようもない。

市街地を丸く囲み何箇所にも拠点ターミナルを作りそこからバスなどで市街地に行く交通手段がほしい。

市街地の空洞化をふせいで以前の街中に、もどしてほしい。

- ・北口から大工町にかけての活性化について。

北口が何になるのかわかりませんがラウンドワンなどの遊技施設を誘致してもらいたかった。中高生娯楽がカラオケしかなく可哀想。

子ども達も「水戸飽きた」「することない」と言っていた。

- ・ずっと住んでいる人は

気づかないが

本当に何もなくて不便な田舎町であることを認識した方がよい。

- ・車に頼らないまち、という構想に対して市民がどのくらい前向きに捉えているかは、慎重に調査した方がよいと思われる。

- ・歴史と自然を残しながらも、便利で住み良い街。

- ・欲しい支援が受けやすいまち。

今までいくつか行政の相談窓口にお問い合わせをしたことがありますが、「それはこちらへ」と次から次に別の部署に回されて結局もとの部署に戻された時は驚くやら悲しいやらでした。

- ・「県都・県庁所在地にふさわしい交通網の整備」

現状、茨城県は都市圏が分断しており、水戸の魅力が低い。中心駅である水戸駅から県庁へ

のアクセスが非常に不便で、つくば等今後の発展が見込める都市からすると水戸が県庁所在地である理由がわからないといわれる所以である。

市内を走行するバスも「茨城交通」「関鉄バス」と2社にまたがっているが、双方で利用できるICカードが異なり利用しやすい公共交通とはかけ離れている。

水戸駅のバス乗り場は方面別になっているのであろうが、非常にわかりづらい。

以上より、茨城交通にも片利用でもよいのでSuicaが利用できるよう強く働きかけを行うとともに、駅前バス乗り場の方面別（水戸駅～大工町・県庁等）集約や、電光掲示板による案内表示が必要と考える。

常磐線が石岡を通らず水戸駅～高浜まで直線で結ばれば都内までも特急で1時間を切ることは夢ではない。

・夜間における小児救急及び周産期医療施設整備

病児保育施設整備

皆無に等しい、安心して子育てが出来ない。

観光地の交通網及び環境整備

偕楽園と弘道館間の交通網が無い、また観光地周辺に魅力ある食事処や土産屋も無い。

弘道館については駐車場も少なく不便である。

道路整備及び交通マナーの徹底

細い路地が多く、他県人からすると走りにくい。

水戸の駅南大通りや水戸駅からの50号線については片側2車線だが、片側に駐車車両が多く、慣れないドライバーには運転しずらく事故を招きやすい作りである。

夜間は暗く、交通マナーも悪く茨城ダッシュなど運転に関し他県人より評判が悪い。

さらなる教育施設整備

インターナショナルスクールなど国際色豊かな教育環境の整備。

企業誘致

水戸市内には就業先である大手の工場などの企業が無い。

・「3. 水戸駅を中心とした、平日・休日を問わず家族で心身豊かに暮らせるまちについて。」

施設や商業には、小さな子供(小学生・未就学児)や親世代(二十代から四十代)だけではなく、青年世代(中高生から大学生など)にも満足できる環境が必要と考えます。特に青年世代は駅南口周辺に多く集まってきているので、その人々が楽しめる環境なりがあれば、この先の人生も住み続けたいと思うのではないのでしょうか。

駅南口のデッキから千波湖に至るまでに、青年世代や観光客向けの施設や商業などの導線を生み出してほしいです。現状では、雑居ビルばかりで人通りも閑散としていて千波湖を目指す観光客もがっかりするかもしれません。青年世代も駅構内から出ては来ないと思います。

「10. 新幹線があり交通の便が良く、都心にアクセスしやすいまちについて。」

他の首都近郊の都市を差し置いて、水戸に住む選択をする理由になるような魅力や差別化

などの工夫が必要ではないでしょうか。

- 老若男女問わず、街歩きしたり交流があったり楽しく過ごしたいです。
- 水戸駅周辺に全てを集める必要はない気がする。水戸市民、茨城県民はマイカーでの移動が多く、渋滞や駐車場の問題も出てくるからだ。いくつかのエリアに分けて、巡回バスなどの確保もして作ったほうが良いと思う。
- 新幹線の誘致は現実的でないため外した方が無難だと思われる。
上記と併せて、都内へのアクセスをアピールするとすればリモートワークに適した距離感と住環境の良さを強みとするのが良いと思われる。
自家用車に頼らないまちを目指すにあたっては、LRTやBRTなど、路線バスをより発展させた形で公共交通機関のアクセス向上に取り組む旨、旧市街区を中心とした空き家問題や狭隘道路に対する問題へ取り組む旨の記載が望ましいと思われる。
- 地域住民のニーズの把握です。
よりよい未来のために市民を巻き込んだ活動を実施したい場合、市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報を意図的に伝えようと努力しなければ、市民にその後の行動変化を望むことは難しいと思います。定期的にアンケート調査を実施したり、市のイベントをとおして市議会議員や市職員との直接コミュニケーションを図ったりするなどのさまざまな機会を通し、市民のニーズを多角的にタイムリーに把握することは大切なことだと思います。